（標準様式第11号）

令和　5　年度　指定管理施設評価分析書

1　管理業務の実績と評価分析

指定管理施設名	鳳鳴地域交流センター			
指定管理者名	鳳鳴やまさと会			
所管部署	教育委員会事務　局　　生涯学習スポーツ推進　課			
全指定期間	令和3年4月1日　　～　　令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	運営業務	維持管理業務	コミュニティ活動
	業務内容	施設の使用許可に関すること。	施設及び設備の維持管理、施設周辺の美化に関すること。	地域コミュニティ活動の促進等に関すること。
	実施状況	・脱コロナで利用促進 ・イベントの開催を積極支援 ・管理者を選任	・施設点検、施設内清掃（毎月）、周辺環境整備、花壇整備（年16回） ・施設の異常を市に報告（スズメバチの巣除去・大雨被害）	・ドローン講習会　78名 ・そば打ち体験　年間9回 ・特別福祉講座　73名

施設利用実績	利用者数	令和　4　年度	1,823　人
		令和　5　年度	1,729　人
		増　　減	△ 94　人
	実績の分析	5月にコロナウイルス感染症の分類が5類感染症に移行された影響で多くの制限が緩和された。利用者数は前年度比で微減であったが、5類移行後、グラウンドゴルフ大会などを開催等するなど様々な催しが増えた。10月には当センターをメイン会場とした大規模なイベントを開催する予定であったが、主催する企業側の都合により中止となった。鳳鳴地域住民で新米や野菜等を販売しようと盛り上がっていただけに、大変残念であったが、企画等の過程で得た経験をもとに、今後の事業に生かしていくことを期待する。 施設の老朽化による修繕については、利用者の安全確保を図るとともに優先順位を考慮し指定管理者と協議しながら進めていかなければならないと考える。	

利用促進に向けた新たな取組	ドローン関連の利用 TV局の撮影など木造校舎での撮影の需要が増加

収支結果

（単位：円）

	科目	予算額	決算額
①管理業務収入	利用料金収入	13,500	21,650
	指定管理料収入	1,697,000	1,697,000
	事業収入	9,000	
	その他	500	38,051
	収入計	1,720,000	1,756,701
参考	内未収金		
②管理業務支出	人件費	933,000	1,106,496
	事業費	200,000	80,143
	管理費	582,000	522,128
	その他	5,000	48,475
	支出計	1,720,000	1,757,242
参考	内未払金		
③管理業務収支(①-②)			▲ 541
④自主事業収支			
⑤全体収支（③＋④）			▲ 541

利用者満足度	聞き取り結果により、運営業務、維持管理及び個別事業すべて良好。

今後における課題と改善方法策等

現状の課題	①コロナ渦での事業展開 ②施設の老朽化
改善方策等	①イベントの企画・地域の交流及び活性化につながる情報提供 ②優先順位をつけ、計画的に対応

数値目標（利用者数）	年度	令和　4　年度	令和　5　年度	令和　6　年度	令和　7　年度
	目標値	2,000　人	20,350　人	2,500　人	3,000　人

２　モニタリング評価表

総合評価	B

	評価項目 評価基準	評価	評価事項・指摘事項
管理状況	①人員配置及び職員研修の状況 必要な人員配置、従事員の教育や研修が実施されているか。	B	職員研修は難しいものの、環境整備後など定期的に会員であつまり業務内容等について協議し、共通認識を図っている。
	②文書の管理状況 必要書類を適切に保管にし、取扱帳簿一覧等を作成しているか。	A	日報等必要書類を適切に管理している。
	③経理状況 経理事務は適切か、指定管理業務と自主事業の区分がなされているか。	A	適切に処理されている。
	④設備・備品の保守管理状況 日常点検は適切に実施され、整備・修理・故障の履歴は管理されているか。	B	会の職員による点検が実施されている。修繕については市との協議が必要である。
	⑤清掃状況 日常清掃・定期清掃は適切に実施されているか。	A	日常的・定期的に清掃はされている。
危機管理対策	⑥緊急事態等への対応 危機管理に関するマニュアルを策定しているか。緊急時の連絡体制が確立されているか。重要事項等必要な報告がなされているか。	B	年1回程度のマニュアルの点検が求められる。
	⑦防犯・防災体制 防災訓練・マニュアルが作成され、鍵の適正管理・防犯設備・消防施設の点検等が行われているか。	B	年1回程度のマニュアルの点検が求められる。
	⑧個人情報の保護 情報漏えいを防止する仕組みが構築されているか。市の承諾なしに、業務を第三者に委託していないか。	B	個人情報保護への取り組みに活かせる職員の研修等の実施が求められる。
サービス水準	⑨施設利用状況 利用者数等の目標は達成できたか。	B	目標値は未達成であるが、令和6年度は4月にはセンター開設10周年記念イベントの開催、11月のアートフェスティバルの開催など様々なイベントで参加者増加に期待が持てる。
	⑩サービス向上への取り組み サービス向上へ向けての取り組みが十分行われているか。事業について、適切な広報活動を行われているか。	B	様々なイベントにおいてポスター・チラシの作成やMYT等で広報活動を行っている。
	⑪利用者満足度 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足度が得られているか。	B	聞き取りによる満足度も良好である。
	⑫苦情・要望への対応 苦情に関する一件帳簿を作成するなど苦情内容が職員で共有できているか。	B	苦情に対する報告は受けていないが、苦情が出た場合、帳簿を作成する必要がある。

<<評価区分・配点>>

	区分	評価基準	評価点
個別項目	A	適切に実施され、特に改善等を指摘する事項はない。	4
	B	概ね適切に実施され、指摘事項は軽微な事項に留まる。	3
	C	実施内容に改善を必要とするものが多く見受けられる。	1
	D	実施がされていない又は実施方法が適切でないなど大幅な改善が必要となる。	0

総合評価	A	B	C	D
	合計点数　40点以上	合計点数　30点以上	合計点数　20点以上	合計点数20点未満